

## 臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 肺癌が疑われた患者の<sup>18</sup>F-FDG PETを用いた血管炎症の評価』

### 【研究の背景および目的】

2017年に発表されたCANTOS studyでは、抗炎症薬は心血管イベントリスクを軽減したと報告しています。このことから、炎症を抑える事により、動脈硬化を予防できる可能性があると考えられます。しかしながら、現在動脈硬化の炎症性変化を観察できる検査は確立されておりません。そこで、東邦大学医療センター大森病院 循環器内科では、動脈硬化は血管内皮細胞の傷害により炎症を惹起するため、ブドウ糖の細胞膜輸送が亢進している炎症部位や腫瘍部位に集積するFDGPETで血管内皮障害部位に集積することが予想されます。FDGPETを施行された担癌患者の血管炎症に対する集積の有無や患者背景を観察することで、担癌患者における心血管イベントリスクの評価や指標の発見、血管炎症の評価としてのFDGPETの有用性が期待できることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、その有用性が証明できれば、動脈硬化性疾患の早期発見、精査・治療に繋がる可能性が考えられます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。2015年～2017年までに東邦大学医療センター大森病院において、<sup>18</sup>F-FDG PETを受けた症例を対象とします。本研究は、当院で肺癌が疑われ、FDG-PETを施行された患者の血管炎症に対する集積の有無や患者背景を観察し、FDG-PETを用いて担癌患者における心血管イベントリスクの評価や指標の発見、血管炎症の評価をすることが目的です。

### 【利益相反について】

この研究の共同研究者の1人は企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座に所属し、これらの企業との利益相反関係にありますが、データの解析については利益相反関係にある研究担当者自身は、原則として直接のデータ解析には関与せず、データ解析に関与する必要がある場合には、複数の研究実施担当者が合議ですすめお互いにチェック体制を構築することで、企業との利益相反を回避し、結果公表のバイアスを防止するとともに、成果の客観性を保つように配慮します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院  
循環器内科 医師 中西 理子  
電話 03-3762-4151 内線 6545